

2016年10月20日

医療機器のテルモ、米アボットの一部事業を買収

医療機器製造テルモは、米医薬品・医療機器大手アボット・ラボラトリーズと同業の米セント・ジュードメディカルから血管治療機器の事業の一部を買収することで基本合意した。アボットは今年4月に決めたセント・ジュード買収に伴い事業再編を進めていた。テルモは今回の買収で血管治療機器事業を強化する狙いだ。

テルモのM&A（合併・買収）では2011年に買収した輸血関連機器大手の米カリディアンBCT（現テルモBCT）に次ぐ規模になる。今年6月には脳血管治療に使う米医療機器会社の買収を決めた。

新興国の経済発展もあり、医療機器の世界市場は広がっている。18年には50兆円を超えるとの試算もある。海外事業を拡大し、技術の幅を広げるためにテルモは積極的にM&Aをしている。

以上